



タイトル「**2019年度シラバス (学部)**」、フォルダ「**2019年度シラバス (学部) - 専門科目-情報科学部-情報科学科-2~4年次科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目コード	0F800509		
科目名	*情報科学演習 II		
担当教員	澤田 直		
対象学年	3年	クラス	[213]
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水 3	単位区分	
授業形態	演習	単位数	
準備事項			
備考			
A 講義概要/Class Outline	この授業では、卒業研究の課題として予定される研究領域に関係の深い専門分野や先行研究について調査、分析、討論、実装などを行うことによって、卒業研究の遂行に必要な知識、技術を修得するとともに主体的に学ぶ習慣を身につけ、卒業研究に備える。情報科学科の各教員に学生を分属させて、各教員が分担し演習形式で学生を指導する。各学生の結果は、ウェブ形式のレポートとして学科内に公開する。		
B 講義計画(テーマ及び学習内容)	研究室を担当する教員の指導で研究室毎に独自のテーマで演習を実施する。演習の結果はウェブ形式のレポートとして公開する。		
	回	内容	
	1	ガイダンス、履修計画の指導 【事前・事後学習】 学生便覧・履修ガイド・時間割を参考に履修計画を立てる。	
	2	外部講師による講演会 IT業界の話題 【事前・事後学習】 講演内容の振り返りをする	
	3	就職ガイダンス 【事前・事後学習】 講演内容の振り返りをする	
	4	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、要求分析 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	5	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、要件定義 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	6	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、構想設計 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	7	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、基本設計 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	8	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、詳細設計 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	9	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、実装 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	10	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、単体テスト 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	11	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、結合テスト・システムテスト 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	12	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、実機検証 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	13	研究室毎のテーマで演習 テーマ：FPGAボードを用いた設計演習、成果報告 【事前・事後学習】 テーマに関する予習・復習をする	
	14	ウェブ形式のレポートの作成 【事前・事後学習】 レポート作成の準備・確認をする	

	15 ウェブ形式のレポートの公開 【事前・事後学習】レポート公開の準備・確認をする
C到達目標/Class Goal	<p>【学習・教育到達目標】</p> <p>A-3-2 日本語について、論文やレポートの形式と書き方を学ぶことにより、日本語文章の論理的な記述力を養う。また、情報科学に関連したテーマの調査、分析、討論により日本語の発表力、コミュニケーション能力を養う。（関連度◎）</p> <p>B-2-1 情報科学・情報技術に関する専門的テーマのいずれかについて、調査、分析、討論、実装などの方法を学ぶ。（関連度○）</p> <p>B-2-2 専門的テーマの研究を通して、情報科学・情報技術の最新の動向を理解する。（関連度○）</p> <p>B-3-1 情報科学・情報技術に関する重要な課題に対して、他者と協力し、納期・費用・品質などを考慮して、それまでに学習した知識・技術を応用する方法を学ぶ。（関連度◎）</p> <p>B-3-2 各人に与えられた研究課題について、主体的・計画的に文献調査、実験、研究討論などを行い、その成果を卒業論文としてまとめる方法を学ぶ。（関連度◎）</p> <p>B-3-3 一年間の継続的研究活動を通じて、技術者として必要とされる考察力、判断力、創造力を養い、より高度な学問分野への取り組み方や技術者として社会に貢献できる能力を身につける。（関連度◎）</p> <p>【科目の到達目標】</p> <p>[1]与えられたテーマについて、教員の指導などに従って、調査、分析、討論、実装、評価などを行うことができる。</p> <p>[2]結果を適切にまとめて公開することができる。</p> <p>[3]仕事を計画的に進め、期限内に目標を達成することができる。</p> <p>[4]自主的に学習を進めることができる。</p> <p>[5]チームワーク力、リーダーシップ力がある。</p>
D準備学習の内容(事前・事後学習)	講義時に指示する。与えられたテーマについて、自主的に学習を進めること。 日々の自学自習時間は、毎週予習2時間・復習2時間を取るよう努めること。 理解できなかった箇所はオフィスアワー等を活用して解決を図ること。
E評価基準GradingCriteria	科目の到達目標の項目について 秀) 総合的に90%以上を満たす。 優) 総合的に80%以上を満たす。 良) 総合的に70%以上を満たす。 可) 総合的に60%以上を満たす。
F評価方法/Grading Method	科目の到達目標との関連は以下の通りである。 ウェブレポート 40% ([1]~[3]を基準に評価する) 学習態度 60% ([1]、[3]~[5]を基準に評価する)
G受講上の注意/Class Rules	情報科学演習Ⅰ、Ⅱの説明及び研究室分けは3年次前期に行う。原則として情報科学演習Ⅰの研究室が、情報科学演習Ⅱおよび4年次の卒業研究の研究室となる。 ウェブ形式のレポート提出がないと単位の取得はできない。 必要な場合には学外授業を行うこともある。 講義計画は、学生の適性や進捗状況により変更することがある。 貸与PCを使用するので必ず持参すること。
H受講制限/Prerequisite	前年度終了時の修得単位数が52単位未満の場合には、履修を推奨しない。
I 関連する科目RelatedClass	情報科学演習Ⅰ、卒業研究
J教科書/Text	なし
K指定図書/Assigned Books	なし
L参考文献/Bibliography	適宜指示する。

メモ 	
--	--

